



予算のお知らせ

2026年2月16日開催の第40回組合会において、PwC健康保険組合の2026年度予算と事業計画が承認されました。今年度は、①義務的負担(高齢者医療への拠出・医療費等保険給付費)増加傾向への対応継続、②健診プログラム刷新とそれに伴うサポート、③当健保加入者の健康課題(歯科、運動不足、女性特有の健康課題、若年層の肥満増加傾向)に基づいた保健事業、④コラボヘルス(事業主と健保の共同事業)と情報発信力の強化、⑤健保業務のセキュリティ向上やUX向上に向けた取組等を考慮した予算編成を行いました。なお、2026年4月施行の「子ども・子育て支援金制度」について、支援金の徴収は国の指示により健康保険組合が代行することとなりました。ご理解とご協力をお願いいたします。



子ども・子育て支援金制度

■収入支出予算額

健康保険	121億4,543万円
介護保険	15億 9万円
子ども・子育て支援	3億 7,962万円

■保険料率

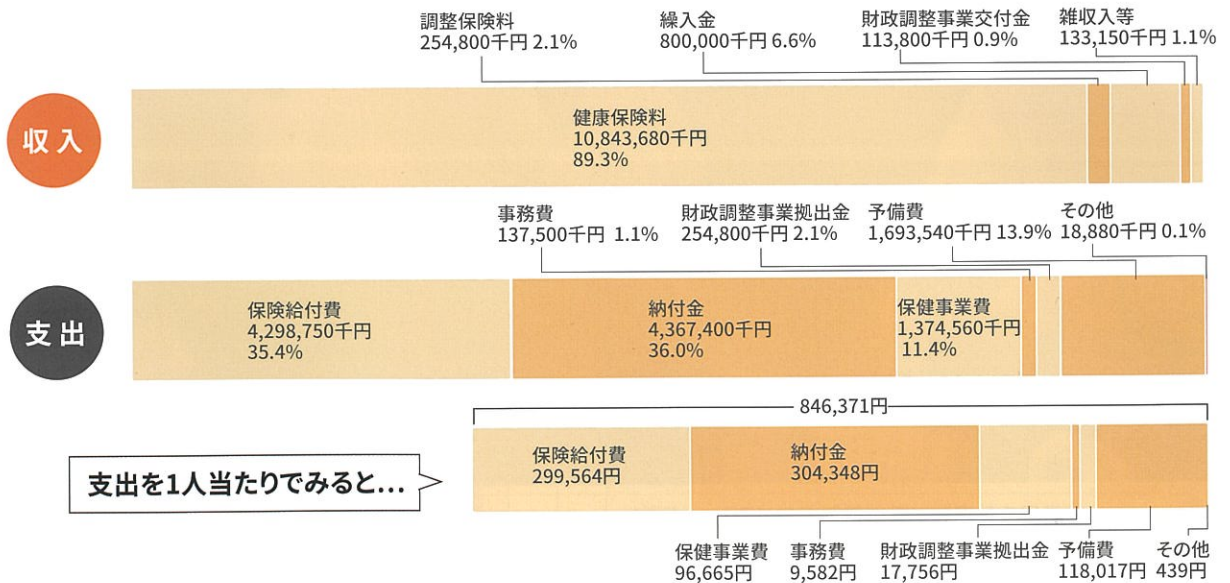
	被保険者	事業主	合計
健康保険	36.5/1000	36.5/1000	73.0/1000
介護保険	10.0/1000	10.0/1000	20.0/1000
子ども・子育て支援	1.15/1000	1.15/1000	2.3/1000

一般勘定

前年度に比べ、保険給付費は約4.0億円増加した支出での予算編成としました。収入は被保険者の増加等により約9.9億円増加を見込みますが、医療費の想定外の増加に備え、別途積立金8億円を繰り入れるなど、収支の安定を図ります。

予算の基礎数値(一般勘定)

- 被保険者数 14,350人
- 平均標準報酬月額 756,000円
- 総標準賞与額 27,000,000千円



介護勘定

健保組合が介護保険料を徴収し、国へ介護納付金として納めます。今年度も2.0%を継続とします。



子ども勘定

健保組合が子ども・子育て支援金を徴収し、国へ納付します。今年度の一律の支援金(0.23%)で算出しています。

